

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立厳木小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響を受けて3年目となった今年度も、活動を制限せざるを得ない場面があった。しかし、昨年の方針と同様、「どう工夫して行うか」を中心柱に据え、様々な対策や工夫をしながら子どもたちにとっての「今年しかないこの一年」を乗り切るものにするために、みんなで知恵を出し合いながら進めてきた。このことは無駄なく効率的に最大限の教育効果を目指す新たなスタイルとして確立させることができ、その成果は大きいものとなった。</li> <li>学校を教職員主導で動かすのではなく、教職員は黒子となり、いかに児童自らが進んでいるように意識をもたせることで、学校に活気があふれ、児童の自信に繋がっている。本校はその体制ができており、6年生がリーダーとなって学校を引っ張っている。年度末に近づくと、特に5年生が「次は自分たちが学校を動かす番だ」という意識を強くもって活動している。この活動は今年度も確実に実践でき、伝統となって受け継がれている。</li> <li>校内研については、外国語教育に取り組んで5年目となった。今年度は「自ら考えて伝え合う言語活動の在り方」「学びに生かす評価の在り方」「地域や身の回りのことなど身近な素材を生かした教材開発」について研究を進めた。来年度は、これまでの研究を生かして引き続き外国語教育の更なる充実を目指し、取り組んでいきたい。</li> <li>「学校大好き」「家庭大好き」「地域大好き」の児童を目指し、教育活動を行ってきた。来年度も地域と共にある学校、地域の期待に応えられる学校となるよう努めていきたい。</li> </ul>
2 学校教育目標	豊かな心を培い、夢に向かって、主体的・創造的に活動する子どもの育成 ～ふるさとを愛し、人に優しく、一人一人が伸びる学校 厳木小学校～
3 本年度の重点目標	<p>1 児童の意欲を高め、思考力、表現力、判断力を育む指導の工夫      2 きめ細やかな指導と児童の学習習慣の確立      3 心の教育（一人一人を大切に人権教育）の深化と充実</p> <p>4 地域人材の活用と地域での体験活動の推進      5 校内研究・職員研修の充実及び勤務時間を意識した働き方改革の推進</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目									
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●唐津の学びスタイルチェックシートに示した学びの実現状況が2.5以上の教師80%以上	・学期末に唐津の学びスタイルチェックシートを記入し、指導法を振り返る。課題については重点項目として全職員で共通理解し、改善を図る。						
	○GIGAスクール構想の中で展開させる、主体的に自分の考えを形成し、表現する力を育むための授業の工夫と家庭学習習慣の確立	○話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできていると答える児童85%以上 ○児童アンケートで「家庭での学習時間(10分×学年+20分)を集中して取り組めた」と答える児童の割合80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3」を踏まえ、全教科半分以上の時間で、話し合う活動と振り返り活動を行う。振り返り活動で出た児童の感想を次の学習活動に生かす手立てを取る。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳や人権教室に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童90%以上	・月1回のおひさま朝会の実施 ・人権擁護委員による人権教室の実施 ・地域の方と連携した体験活動の実施 ・人権・同和教育に関する校内研修等の実施						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの未然防止・早期発見に努め、いじめについて組織的対応ができていると回答した教職員85%以上	・OUアンケートを実施し、その結果を生かした指導を行う。 ・学期に1回の生活アンケートの実施と活用。 ・定期的に「友達アンケート」を実施し、実施後の丁寧な聞き取りと指導を行い、結果を全職員で共通理解する。支援が必要な児童については全職員で対応する。						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒85%以上	・キャリアパスポートを活用した教育活動の研修を行い、実践していく。 ・実行委員会形式、児童司会による児童会行事を行い、児童の主体性を育む活動に取り組む。						
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上	・体育的行事や縦割り班活動を通して、「運動が大好きな子ども」を育てる。 ・運動能力向上につながる動きや遊びを授業の中で児童に紹介し、休み時間にも取り組めるような環境を提供する。						
	○望ましい生活習慣の形成	○家庭で約束したスマートフォン・ゲーム時間の遵守と「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いた児童80%以上	・授業において睡眠やスマートフォン・ゲーム時間を守ることの大切さを伝える。 ・生活アンケートを定期的実施し、規則正しい生活習慣の意識を高める。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎週金曜日を定時退勤日とする。 ・時間外勤務時間調査等をこまめに行いながら、勤務の適正化がよりよい教育効果に繋がることがあることを伝え、タイムマネジメントの習慣化を図る。 ・ICTの活用を積極的にを行い、業務の効率化を図る。						
	○職員の心身の健康	○本校独自に設定したストレスサイン10項目のうち、該当するものが2項目以下の職員80%以上 ○年間休取得14日以上を目指し、パステイ年休の完全取得	・定期的にチェックを行う。 ・心身の不調を防ぐために、コミュニケーションを大切に、ケアの充実を図る。 ・年休取得について呼びかける。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○ 地域人材の活用と、地域での体験活動の推進	○積極的に地域人材の活用をし、地域での体験活動の推進する中で育む、ふるさとを愛する心と主体的・創造的に活動できる力	○地域の方々から見た児童の活動に関して肯定的な回答90%以上(アンケートで)	・コロナ感染防止対策を徹底した上で、授業参観などを地域の方々にも開放し、児童の学習風景を参観してもらい、その感想をアンケートに記載してもらい、それを基に学びを充実させる手立てを工夫していく。 ・地域の方々へ学習の成果を発表する機会を設け、学んだことについての考えや思いを伝える。 ・講師招聘による研修、授業研究会の実施、他校の研究発表等に積極的に参加するなどして、外国語教育の指導力向上を図る。 ・評価を生かした学びの充実を柱とした授業実践を行い研究を深める。						
○ 校内研究・職員研修の充実	○研究テーマに沿った研究の充実及び教員の専門性の向上	○外国語教育の進め方に関する専門性が向上した教員90%以上	・講師招聘による研修、授業研究会の実施、他校の研究発表等に積極的に参加するなどして、外国語教育の指導力向上を図る。 ・評価を生かした学びの充実を柱とした授業実践を行い研究を深める。						
○ 特別支援教育の充実	○支援体制の確立と教員の専門性や意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員85パーセント以上	・特別支援に関する研修会の実施(夏休み) ・ケース会議の開催、毎月1回の生徒指導協議会での気になる子についての共通理解 ・外部機関との連携(SC,SSW)						